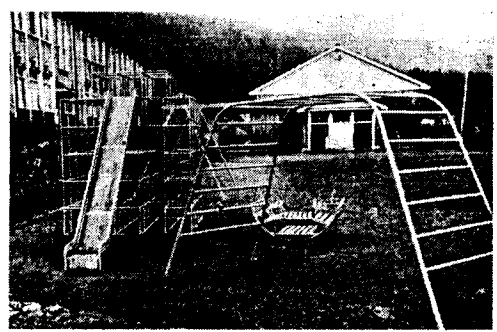


校下部落に子供の遊び場

日進小学校



指導図書 二五 (二七三) (二八八)

先に田中先生よりいただきまし
た多母谷学林の立木売却を機会に
学校の希望と父兄の要望によりま
して、次の施設の拡充を見ること
が出来ました。

一、田中遊園地
校下七部落に子供の遊び場を作
ること。用地と労力は部落の負
担とし資材、鉄棒、舟型シー
ン、ブランコ、スベリ台を購
入しました。既に遊び場の完成し
たところもあり、雪どけを待っ
て全部出来上ることになってい
ます。資材の代金は三十五万円
です。

二、田中文庫の充実
昨年度発足しました本図書館は
児童にも父兄にも非常に好評で
したので、今回次のような図書
を購入して児童の利用に供して
います。(カッコ内は合計)

本校 荷藤分校
物 四七九 一五三
参考図書 一四一 三三二

文部省委嘱 半原婦人学級開設日程 98.1.19

月日	1.00-3.00		3.00-4.00			
	講	義	レクリエーション	音楽	民謡	踊
1月19日	保健と衛生	石神東洋	A B C	C D A	D A B	B C
1月27日	村政と一問一答	山本清孝	B C D	D A B	A B C	C D
2月10日	時事と農家の生活	池田昌治	C D A	A B C	B C D	D A B
2月24日	農家の食生活	長谷川助夫	D A B	B C D	C D A	A B C
3月10日	農家の食生活	長谷川助夫	A B C	B C D	C D A	D A B

大納子供会の称名学級放送

年頭に当り大納子供会の称名学
級放送に付て思出を書けよとの事
で、私が大納子供会の保護の御世
話を致して居る関係上少々紙面を
汚がさせて載せます。私は児童憲
章を見るに当り、児童に正しい観
念を確立し、すべての児童の幸福
を計る為には、此の山の中の子供
達をどうしたら良いかと保護者の
立場からいろいろ考へて見ました
が、仲々良い案もありませんので
昭和三十三年二月大納部落の子
会を集めて話の上、(称名学級)と
名付けて先ず親製聖人御製作の正
信稿を勤修する事に致し、毎週二
時間から三時間大納道場に集り練
習を続けて見ましたが、子供達が
意外に喜んで集り、熱心に勉強を
してくれました。其の数は年々増加
して行くので、色々な遊戯を交え
て人なつこい表情はだれにも親し
み易く、世のめぐまれば人達の
相談相手として最も適任であり、
常に献身の努力をされて居る様は
ほんとうに氏ならではの感がある
又氏は宗教家であり、大衆的な
信託として多くの人に親しまれて
世の中の表裏から現実的に又精神
的に世の救済に尽力されて居る氏
の長寿を祈つて、増々元気で今日
迄の体験を生かされて世の救済に
尽されんことをこい願うものであ
る。

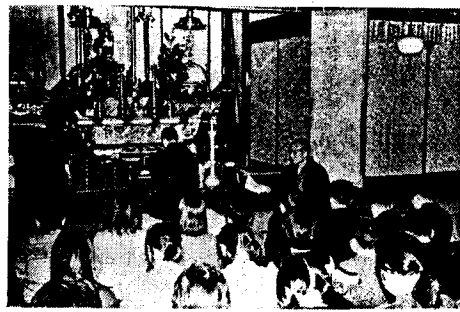
第一次産業

私達が日
頃接する
用語のう
ちには、
改めると
いたゞれると返答に困るものが
沢山あります。例えば「政府」な
どと言つても、それが何をさすの
か、総理大臣のことでもなさそう
だし、と言つて、各大臣を一括し
て言うかという、そうでもなく
又別にそんな役所(県庁とか、市
町村役場のような)があるわけ
もなし、どうも明瞭な観念が頭に
浮かばない。「民主主義」の意味に
しても、日常誰でも口にし、耳に
し乍ら、いざとなると辞書に在る
ように、人民が人民の...云々と
用いられているものが多い。
すなわち農業、林業、畜産業、
水産業を第一次産業と呼び、鉱業
や製造工業、土木建築業、電気ガ
ス供給業などを第二次産業とい
います。又商業、運輸通信業、金融
業、保険業、公務、自由業(小説家、
画家など)サービス業を第三次産
業として居ます。この分類は国民
所得の研究が進み、その国際的な
比較を行う必要が起つて来るにつ
れて採用された分類法です。今、
資本主義国家の経済発展に伴つて
有業人口の之等産業への分布状態

副う事が出来たものとして深く喜
ぶ者であります。
大納子供会保護者会
会長 谷口 市松
(写真は称名学級)

成人の日へ想ふ

美濃島俊一



少年老い易く学成りがたしとか
思ふまゝにならず月日は流れて、
早やここに成人の日を迎える年と
成りました。四年前強く正しく生
きよと、固く誓ひ合つて学校の
門を巣立つて行つた朋友も、思い
思ひの職場で、或は学校で六十
三年の新しい年と共に、この成人
の日を迎へた事は、何か心のひき
まる思いで感慨無量です。
私ももう一人前の成人に成れたの
だ。今日からは社会の一員として
国、県、そして村の代表を重ん
じ、大なる義務が与えられた事は、私達
若人の血は湧き立つ思ひです。今
や世界の発展は目ざましく、一年

日々が成人

田中三郎

社会人として他県に就職して、
まだ一カ年もたつていない者にと
つて、社会人としての知識なんて
まだまだ先のことであり、一生か
かっても会得しきれないかも知れ
ない。成人式を迎へることに對し
て、別に期待も希望も夢みていな
かつた...とは言い切れないが、
特別な感動もなく、平凡な成人式
を迎へてしまつた。でもこれでい
いんじやないかなあ。成人を迎
えたからつて急に大人ぶつたり、
十代から脱したようにふるまわな
くても、時がたつにつれて、いや
一日一日の生活によつて一歩一歩
成人へ変化して行くのではないだ

試験への門出

朝日英子

一九六三年、輝かしい新年、そし
て成人式、二重の喜びを迎へ私達
は成人として認められ大人として
仲間入する事になった。でも年が
二十才になつて選挙権が与えられ
たと大人と考へるのは行き過ぎ
でしょう。
ほんとうの大人になるには精神
的にも肉体的にも立派に成長する
様に精進する事により、人間とし
て義務を全うすべく努力する事
が必要でしょう。
私達は明るい社会を築く為は何
か信念を持つて未知の社会に突入
していかねばならない。例えその
社会が汚れていようと、美し
い心で立ち向へば必ずそこに新し
い道が開ける事でしょう。
「美しい心とは何か?」
聖人賢人や神のみが持つてい
るものではない。それは私達青年
の凡てが持つて居る豊かな希望が
それであるように思ひます。
どんなに苦しい心で乗り越え
覚悟であります。しかし現実私
達の希望とはほど遠いもので、希
望を現実に調和させる苦しい試験
の出発が成人式であると思ひます

人のうらみ

- 【出生】
- 東市布 周戸 浄治 一美長男
- 下半原 中山富弥子 富士夫長女
- 大谷 田島 範子 文治長女
- 大谷 小沢真喜子 英郎長女
- 下半原 木島 正一 徹長男
- 大谷 池尾 郁代 義雄長女
- 大谷 山田 英明 裕長男
- 野尻 若山 一郎 裕長男
- 朝日 中内雅希代 智利式女
- 東市布 酒井加代子 美明長女
- 米 池尾千代美 重太長女
- 東市布 田中 守人 太長男
- 【婚姻】
- 上半原 長谷川 智 浅井 歌子
- 名古屋市昭和区 山田 勉
- 箱ヶ瀬 岐阜県郡上郡白鳥町平野千枝子
- 持穴 岐阜県木曾川町 伊藤 孝生
- 愛知 岐阜県神戶市長田区岡本 正博
- 米俵 岐阜県野尻郡山田町 池尾 昭子
- 野尻 岐阜県大野郡莊村村木村 長田 整
- 岐阜 岐阜県南条郡今庄町山本 満昭
- 米俵 岐阜県郡上郡高鷲村 若山 治雄
- 大谷 岐阜県郡上郡白鳥町 藤代 智恵子
- 大谷 岐阜県郡上郡白鳥町 瀬上 孝男
- 岐阜 岐阜県郡上郡白鳥町 黒田 豊子
- 石川 岐阜県江沼郡山中町谷口 長次
- 板倉 岐阜県郡上郡山中町 谷口 信子
- 下山 北 恵智子
- 福井市明里町 丸山 義治
- 上大納 丸山 義治
- 丸山 谷口 孝子
- 下大納 松田 昭
- 名古屋市西区 小柳 節子
- 上大納 高木 博之
- 福井市花堂町 北川多美子
- 中電 曾根 雄次
- 中電 寺西 靖子
- 野尻 宮原 次郎
- 岡山 岡山県久米郡中央町 池上 広子
- 米俵 油尾 喜平
- 神戸市垂水区塩屋町 藤原 宏
- 朝日前坂 加藤登代子
- 箱ヶ瀬 中村 武司
- 岐阜 岐阜県郡上郡和良村 菅原 秀子
- 伊勢 高橋 勝喜
- 大野市上若生子 山田 弘子
- 大野市下若生子 山田 弘子
- 大谷 田島 寛子
- 伊勢 中山 繁
- 岐阜 岐阜県益田郡下呂町 菅原 忠子
- 福井 福井県吉田郡上志比村 山田 道栄
- 【死亡】
- 上半原 長谷川 操 四九才
- 荷藤 下出久太郎 七二才

かじか

此の冬は雪も少くその
上、冬中電気がブル除雪
をやつて自動車を通すと
言うから楽な冬になりそ
うだが、勝手な事を考へて
いたが、いざ降り出した
ら二十数年の積雪に、
天を仰いで悲鳴をあげるばかりの
全国的な大雪となり、各地で胸を
いためる雪害の連続である
雪の魔性と言うか、掌にうければ
溶けてしまひ、吹けば飛び散るそ
の雪片に、そんな狂性でエネル
ギーのあるのは不思議に感じられ
る。雪女郎とか、スノーバック(雪男)等もその魔性に幻想だらう
か、冬山の魔性に魅かれて導い人
命を失う若い男達が何時の世にな
つても断たないのも魔性の魅
力である。然し一面では、汚れ
を知らぬ美しい心を表現し、優し
しい霊感を添え、美しいロマンス
の中にその役割を果している。小
説「細雪」にしても「雪国」にし
ても、白く冷たい雪故にその中
の人々をより人間的にし、広漠
たるシベリアの冬もカチューシャ
の胸のいたみをより効果的に訴え
ている。冬の風物詩と言へば子供
の頃、雪に開れて一軒屋の様冬
の朝、冷たい静寂を破つて、トン
トントンと薬打の音があちこち
から聞え、近所へのお早うの挨拶
でもあり励ましであり、皆元気で
いると言ふ意志の伝へでもあつた
又、気の合った同志三々五々と各
々の家に薬を持って集り、大きな
薪の燃えるいろりを囲んで話した
り笑つたり楽しそうに薬細工をす
るのを羨しく思つたりしたもので
ある。又丸い大きな草餅(ヨモギ
餅)に味噌のつけ焼きして独特の
風味に舌つづみを打つたものであ
る、春近くなるとこの家でもそ
の回りの雪の上に荷籠、臍囊、テ
ンゴ等冬仕事の発表会のようにひ
ろげられていた。こうした事も今
では思い出話になつてしまつた。
雪を利用して生産される山仕事も
なくなつた今、復旧工事でも終る
ところの村だとしたらどんな
風物詩が生れるだらうか。